



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月26日

上場会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4373 URL <https://www.simplex.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江野澤 慶亮 TEL 03-3539-7370
 四半期報告書提出予定日 2023年10月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,543	15.9	4,000	19.4	3,947	20.6	2,664	20.7	2,664	20.7	2,674	18.4
2023年3月期第2四半期	16,867	8.0	3,350	△5.6	3,272	△5.4	2,207	△4.4	2,207	△4.4	2,259	△0.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	46.41	44.49
2023年3月期第2四半期	39.63	37.12

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	71,447	43,385	43,385	60.7	753.63
2023年3月期	70,266	41,984	41,984	59.7	733.34

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	14.5	8,800	18.1	8,667	18.8	5,920	9.0	5,920	9.0	102.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	57,568,350株	2023年3月期	57,250,675株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	113株	2023年3月期	113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	57,403,264株	2023年3月期2Q	55,682,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）に記載している通期の基本的1株当たり当期利益は、新株予約権の行使により、期中平均株式数が2023年3月期の期末発行済株式数（自己株式を除く）から424,768株増加すると仮定して算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、

売上収益	19,543百万円	(前年同四半期比	15.9%増)
営業利益	4,000百万円	(前年同四半期比	19.4%増)
税引前四半期利益	3,947百万円	(前年同四半期比	20.6%増)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,664百万円	(前年同四半期比	20.7%増)

となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績において特記すべき事項は以下のとおりであります。

- ① 売上収益は、システムインテグレーション、運用サービスともに売上が好調に推移したこと及び戦略/DXコンサルティングの新規案件獲得により、19,543百万円（前年同四半期16,867百万円、前年同四半期比15.9%増）と過去最高となりました。

売上総利益は8,507百万円（前年同四半期7,028百万円、前年同四半期比21.0%増）と、前年同四半期を大きく上回り、売上総利益率は43.5%（前年同四半期41.7%）と、前年同四半期を上回りました。

販売費及び一般管理費は、主に新卒社員数の増加による人件費の増加や研修の強化などにより、3,350百万円（前年同四半期2,814百万円、前年同四半期比19.0%増）と、前年同四半期より増加しました。研究開発費は856百万円（前年同四半期721百万円、前年同四半期比18.7%増）と、前年同四半期より増加しました。

また、識別可能資産償却費に前年同四半期と同額の223百万円、その他の収益に2百万円、その他の費用に80百万円を計上しています。

この結果、営業利益は4,000百万円（前年同四半期3,350百万円、前年同四半期比19.4%増）、営業利益率は20.5%（前年同四半期19.9%）となり、金融収益23百万円、金融費用81百万円、持分法による投資利益5百万円を計上して、税引前四半期利益は3,947百万円（前年同四半期3,272百万円、前年同四半期比20.6%増）となりました。

法人所得税費用は1,283百万円（前年同四半期1,065百万円）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,664百万円（前年同四半期2,207百万円、前年同四半期比20.7%増）となりました。

- ② サービス形態別では、戦略/DXコンサルティングの売上収益は1,831百万円（前年同四半期885百万円）と、前年同四半期を大きく上回り、売上総利益率は48.2%（前年同四半期47.2%）と、前年同四半期を上回りました。

システムインテグレーションの売上収益は11,754百万円（前年同四半期10,546百万円）、売上総利益率は44.7%（前年同四半期42.8%）と、ともに前年同四半期を上回りました。

運用サービスの売上収益は5,953百万円（前年同四半期5,431百万円）、売上総利益率は39.8%（前年同四半期38.6%）と、ともに前年同四半期を上回りました。

(参考情報)

売上収益のサービス形態別の概況

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)			
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	利益率 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	利益率 (%)	増減 (百万円)
戦略/DXコンサル ティング	885	5.2	47.2	1,831	9.4	48.2	946
システムインテグ レーション	10,546	62.5	42.8	11,754	60.1	44.7	1,208
運用サービス	5,431	32.2	38.6	5,953	30.5	39.8	522
その他	4	0.0	100.0	4	0.0	100.0	0
合計	16,867	100.0	41.7	19,543	100.0	43.5	2,676

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、71,447百万円（対前連結会計年度末比1,181百万円増加）となりました。これは主に、オフィス移転・増床により使用権資産が455百万円増加した他、営業債権及びその他の債権が369百万円、その他の流動資産が335百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、28,062百万円（対前連結会計年度末比220百万円減少）となりました。これは主に、未払法人所得税等が496百万円増加した他、使用権資産の増加に伴いリース負債が494百万円増加した一方で、賞与の支払等により引当金が764百万円、返済により借入金が546百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は43,385百万円（対前連結会計年度末比1,401百万円増加）となり、親会社所有者帰属持分比率は60.7%（前連結会計年度末は59.7%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は12,701百万円（対前年同四半期末比1,956百万円増加）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、3,028百万円の資金取得（前年同四半期232百万円の資金使用）となりました。これは主に、税引前四半期利益3,947百万円の計上によるキャッシュ・フローの増加と、賞与の支払等による引当金の減少764百万円によるキャッシュ・フローの減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、599百万円の資金使用（前年同四半期608百万円の資金使用）となりました。これは主に、オフィス移転・増床に伴う有形固定資産の取得による支出375百万円、敷金及び保証金の差入による支出223百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、2,572百万円の資金使用（前年同四半期2,401百万円の資金使用）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1,431百万円、リース負債の支払による支出729百万円、長期借入金の返済による支出570百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月27日に公表した連結業績予想に変更はございません。引き続き経営戦略の着実な実行により、公表数値の達成を目指してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,832	12,701
営業債権及びその他の債権	8,820	9,189
棚卸資産	17	6
その他の流動資産	1,245	1,581
流動資産合計	22,915	23,477
非流動資産		
有形固定資産	978	1,113
使用権資産	3,327	3,782
のれん	36,476	36,476
無形資産	721	439
持分法で会計処理されている投資	98	103
その他の金融資産	4,465	4,686
繰延税金資産	953	1,009
その他の非流動資産	333	363
非流動資産合計	47,351	47,970
資産合計	70,266	71,447
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,335	2,716
借入金	1,140	1,140
リース負債	1,249	1,569
その他の金融負債	1	2
未払法人所得税等	911	1,407
引当金	2,610	1,827
その他の流動負債	956	674
流動負債合計	9,203	9,335
非流動負債		
借入金	16,858	16,312
リース負債	2,009	2,182
引当金	213	233
非流動負債合計	19,080	18,727
負債合計	28,282	28,062
資本		
資本金	1,013	1,092
資本剰余金	26,903	27,014
利益剰余金	13,587	14,820
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	481	459
親会社の所有者に帰属する持分合計	41,984	43,385
資本合計	41,984	43,385
負債及び資本合計	70,266	71,447

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	16,867	19,543
売上原価	△9,839	△11,036
売上総利益	7,028	8,507
識別可能資産償却費	△223	△223
販売費及び一般管理費	△2,814	△3,350
研究開発費	△721	△856
その他の収益	135	2
その他の費用	△54	△80
営業利益	3,350	4,000
金融収益	7	23
金融費用	△85	△81
持分法による投資利益	—	5
税引前四半期利益	3,272	3,947
法人所得税費用	△1,065	△1,283
四半期利益	2,207	2,664
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,207	2,664
四半期利益	2,207	2,664
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	39.63	46.41
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	37.12	44.49

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	2,207	2,664
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	33	△1
純損益に振り替えられることのない項目合計	33	△1
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	19	11
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	19	11
税引後その他の包括利益	52	10
四半期包括利益	2,259	2,674
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,259	2,674
四半期包括利益	2,259	2,674

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の 構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権	
2022年4月1日残高	814	26,622	9,431	△0		360
四半期利益	—	—	2,207	—		—
その他の包括利益	—	—	—	—		—
四半期包括利益合計	—	—	2,207	—		—
新株予約権の行使 及び失効	77	111	—	—		△34
配当金	—	—	△1,277	—		—
株式報酬取引	—	—	—	—		8
所有者との取引額合計	77	111	△1,277	—		△26
2022年9月30日残高	891	26,733	10,361	△0		335

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素			合計
	在外営業活動体 の換算差額	その他の包括利益 を通じて公正価値で 測定する金融資産	合計	
2022年4月1日残高	16	50	427	37,294
四半期利益	—	—	—	2,207
その他の包括利益	19	33	52	52
四半期包括利益合計	19	33	52	2,259
新株予約権の行使 及び失効	—	—	△34	154
配当金	—	—	—	△1,277
株式報酬取引	—	—	8	8
所有者との取引額合計	—	—	△26	△1,115
2022年9月30日残高	36	83	453	38,438

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の 構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権	
2023年4月1日残高	1,013	26,903	13,587	△0		313
四半期利益	—	—	2,664	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	2,664	—	—	—
新株予約権の行使 及び失効	79	112	—	—	—	△33
配当金	—	—	△1,431	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	1
所有者との取引額合計	79	112	△1,431	—	—	△32
2023年9月30日残高	1,092	27,014	14,820	△0		280

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素			合計
	在外営業活動体 の換算差額	その他の包括利益 を通じて公正価値で 測定する金融資産	合計	
2023年4月1日残高	25	143	481	41,984
四半期利益	—	—	—	2,664
その他の包括利益	11	△1	10	10
四半期包括利益合計	11	△1	10	2,674
新株予約権の行使 及び失効	—	—	△33	158
配当金	—	—	—	△1,431
株式報酬取引	—	—	1	1
所有者との取引額合計	—	—	△32	△1,273
2023年9月30日残高	36	143	459	43,385

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,272	3,947
減価償却費及び償却費	273	296
識別可能資産償却費	223	223
使用権資産償却費	690	763
金融収益	△7	△23
金融費用	85	81
持分法による投資損益(△は益)	—	△5
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,368	△369
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1	11
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△64	381
引当金の増減額(△は減少)	△1,308	△764
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△315	△335
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△412	△282
その他	△75	△325
小計	995	3,599
利息及び配当金の受取額	7	23
利息の支払額	△57	△54
法人所得税等の支払額	△1,484	△923
法人所得税の還付額	307	383
営業活動によるキャッシュ・フロー	△232	3,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172	△375
無形資産の取得による支出	△136	△1
投資有価証券の取得による支出	△300	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608	△599
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△570	△570
リース負債の支払による支出	△708	△729
新株予約権の行使による収入	154	158
配当金の支払額	△1,277	△1,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,401	△2,572
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,241	△144
現金及び現金同等物の期首残高	13,966	12,832
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,745	12,701

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、IAS第12号「法人所得税」(単一の取引から生じた資産および負債に係る繰延税金の会計処理の明確化)を除き、前連結会計年度と同様であります。当該会計方針が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの主な事業内容は、顧客企業のビジネスの成功に貢献するシステムの提案、構築、運用保守に係るITソリューションの提供であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

(2) サービス形態別の売上収益及び売上総利益に関する情報

サービス形態別には、戦略/DXコンサルティング、システムインテグレーション、運用サービスがあり、売上収益、売上総利益は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) (単位:百万円)

	サービス形態				その他	合計
	戦略/DXコンサルティング	システムインテグレーション	運用サービス	計		
売上収益	885	10,546	5,431	16,863	4	16,867
売上総利益	418	4,511	2,095	7,024	4	7,028

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (単位:百万円)

	サービス形態				その他	合計
	戦略/DXコンサルティング	システムインテグレーション	運用サービス	計		
売上収益	1,831	11,754	5,953	19,538	4	19,543
売上総利益	882	5,250	2,370	8,502	4	8,507

※システムインテグレーションには、システム・エンジニアリング・サービス等が含まれています。

運用サービスには、運用・保守、共同利用型サービスの他、ライセンス等が含まれています。

その他は、主としてハードウェア・ミドルウェアなどの物品販売であります。